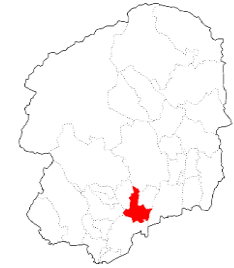


地域公共交通確保維持改善事業評価

下野市地域公共交通会議

令和元年度 下野市地域公共交通会議 (栃木県下野市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



地域の公共交通等の現況

下野市では、南北にJR宇都宮線が通り、石橋・自治医大・小金井の3駅がある。民間運営のバス路線は、JR石橋駅から宇都宮市方面と真岡市方面への2路線と、JR自治医大駅と自治医科大学付属病院間の1Km程度の1路線があり、JR小金井駅西口には、小山市のコミュニティバスが乗り入れをしている。平成23年11月から、市内の交通空白地域の解消を図るためデマンドバスを運行しており、利用者は市内全域からあるが、全体の利用者は年々減少傾向にある。また、令和元年10月より近隣2町と広域連携バスの実証運行を開始した。

網形成計画の目指す概要／地域公共交通に関する施策・取組の概要

市民にとってより快適な移動が可能な公共交通の維持・充実を目指すとともに、市の活性化と市民の生活満足度の向上を図る。市民、交通事業者、行政等が一体となって協働で快適な移動が可能な地域公共交通の確立を目指す。

交通施策として実施した事業の全体像の概要

- ・デマンドバスの運行形態等の改善の検討
- ・1市2町広域連携バスの実証運行の開始
- ・運転免許証自主返納者支援事業の継続
- ・高齢者外出支援事業の継続
- ・子育て世帯外出支援事業の継続

補助対象事業の概要

市内全域を、合併前の旧行政区（石橋・国分寺・南河内）でエリア分けし、1台ずつ配置し、目的地まで送り届ける「完全ドア・トゥ・ドア型」により運行している。エリアを超えて利用する場合は、原則として乗継施設である市役所で乗継をする。ただし、公共性が高く、利用者が多い自治医科大学付属病院・健康福祉センター・ゆうゆう館へは全エリアから直接乗り入れできることとしている。また、乗合者が少数等で時間的余裕がある場合に限り、乗継をせずに目的地へ直行で運行し、利用者の利便性を図り、効率的な運行を行っている。なお、事前登録制度を採用しており、利用の際には事前の利用登録（初回のみ）と利用便の1時間前までに電話予約を行う必要がある。

【デマンド交通「乗合タクシー」】

事業者名：関東交通株式会社
 運行区域：下野市全域（石橋・国分寺・南河内の3エリア）
 運行日：月曜日から土曜日 ※祝日及び振替休日、年末年始(12/30～1/3)を除く
 運行時間帯：午前8時00分～午後6時00分
 運行本数：各エリア 10便／1日
 運行車両：10人乗りワゴン車 3台（エリアごとに1台配置）
 運賃：大人（中学生以上）300円・小学生200円・未就学児無料（ただし、保護者同伴を要する）

面積	74.59km ²
人口（R2.1.1時点）	60,254人
15歳未満	7,645人
65歳以上	14,952人
高齢化率	24.81%
世帯数	24,324世帯

網計画の策定年月日

令和3年3月頃（予定）

交通会議開催状況

- 交通会議の開催状況 4回開催
- ・第1回（11月5日）
デマンドバス運行の課題等を協議
 - ・第2回（1月30日）
事業評価について等
 - ・第3回（4月4日）
公共交通網形成計画について等
 - ・第4回（6月26日）
公共交通確保維持事業について等

前回の事業評価結果の反映状況

平成28年4月に策定した「下野市地域公共交通総合連携計画」に基づき、デマンドバスを運行した。併せて、令和2年度の地域公共交通網形成計画の策定に向けて、住民アンケートをはじめ、市内の高校や企業、交通事業者等へのアンケートやヒアリング調査を実施し、公共交通の現状の把握分析、課題整理に努め、デマンドバスの運行の見直しについて協議検討を進めた。

定量的な目標・効果

【評価指標・目標値】

・指標①：1日当たり利用者数・・・⇒目標値：126人

【当該指標・目標値を設定した理由】

下野市地域公共交通総合連携計画において行った需要予測に基づき、設定した。

【効果】

デマンドバスの運行維持により、誰もが快適に移動できる交通環境を整え、地域の活性化と市民の生活満足度の向上を図ることが出来る。

目標・効果の達成状況

【指標①】実績：…80.6人

【目標を達成できなかった要因(分析)】

利用者数は、前年度に比べて若干の増加傾向にあるが、目標値には至らなかった。通勤や通院等定期的に利用している人がいる一方、利用者の利用希望時間帯の重複により利用できないことが多い、時間の融通が利かないと足が遠のいた登録者の意見も少なからずある。利用者のニーズに対応しきれない状況でもあることから、PR事業を進めることが困難であった。

今後も利用者数の少ない時間帯への対策とともに、車両台数の追加やエリア問題等、より多くの利用者を受け入れられる態勢を整えたうえで周知を図る必要がある。

アピールポイント

利用者を目的地まで送り届ける「完全ドア・トゥ・ドア」型運行を実施している。

基本的にエリアを超えた利用には乗換を必要としているが、利用者が多く、公共性の高い3施設へは直行できるように配慮している。

また、65歳以上の運転免許証自主返納者、75歳以上の高齢者、未就学児を持つ子育て世帯を対象に、外出支援事業としてデマンドバスの回数券を交付し、利用者の増加、利用促進に努めている。

今後の改善点

「下野市地域公共交通総合連携計画」に基づくデマンドバスの運行を継続する。

併せて、地域に根付いた、より効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通体系の確立を目的とした地域公共交通網形成計画を令和2年度中に策定するとともに、利便性の向上と1日当たりの利用可能者数増を図り、今年度行った調査結果の分析を基にデマンドバスの運行方法の見直しを行い、令和3年度からの運行を目指す。

3 デマンドバスの運行実績と今後の課題

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p>【事業者名】 関東交通株式会社</p> <p>【運行系統名】 下野市全域</p>	<p>【デマンド交通「乗合タクシー」】 事業者名: 関東交通株式会社 運行区域: 下野市全域(石橋・国分寺・南河内の3エリア) 運行日: 月曜日から土曜日 ※祝日及び振替休日、年末年始(12/30~1/3)を除く 運行時間: 午前8時00分~午後6時00分 運行本数: 1エリア10便/1日 運行車両: 10人乗りワゴン車 3台(1エリアごとに1台配置) 運賃: 大人(中学生以上)300円・小学生200円・未就学児無料(ただし、保護者同伴を要する)</p>	<p>平成28年4月に策定した「下野市地域公共交通総合連携計画」に基づき、デマンドバスを運行した。 併せて、令和2年度の地域公共交通網形成計画の策定に向けて、住民アンケートをはじめ、市内の高校や企業、交通事業者等へのアンケートやヒアリング調査を実施し、公共交通の現状の把握と課題整理に努め、デマンドバスの運行の見直しについて協議検討を進めた。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B 1日当たりの利用者数は80.6人で、前年度より6.7人増となったが、目標の64.0%であった。</p>	<p>「下野市地域公共交通総合連携計画」に基づくデマンドバスの運行を継続する。 併せて、地域に根付いた、より効率的で利便性の高い持続可能な地域公共交通体系の確立を目的とした地域公共交通網形成計画を令和2年度中に策定するとともに、利便性の向上と1日当たりの利用可能者数増を図り、今年度行った調査結果の分析を基にデマンドバスの運行方法の見直しを行う。</p>

上述の現状を踏まえ、デマンドバスの運行方法については、引き続き検討を進める。

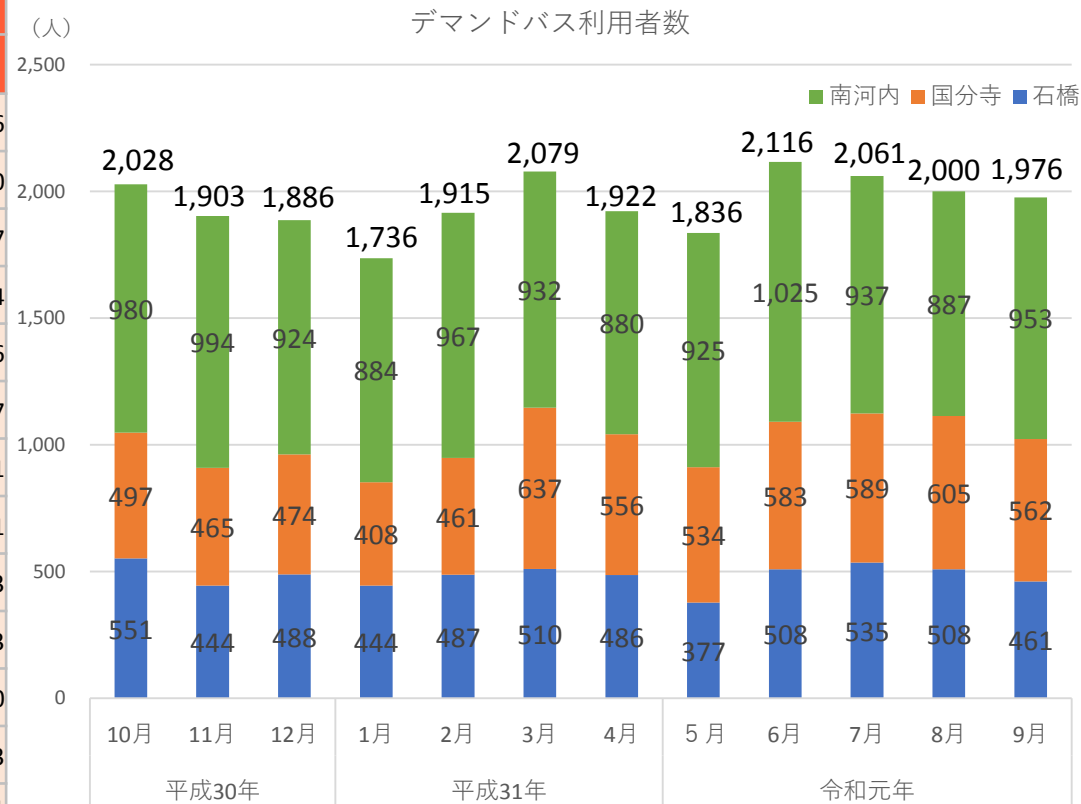
- 運行エリアの見直し (エリア・乗継廃止)
- 車両の変更 (9人乗りから4人乗りの車両への変更等)

4 デマンドバスの利用実態

- デマンドバスの利用状況は、3エリアで約2,000人/月である。
- エリアとしては、南河内エリアが最も多く、石橋エリア、国分寺エリアの約2倍の利用である。

デマンドバスの利用実績

	石橋			国分寺			南河内		
	大人	子ども	未就学児	大人	子ども	未就学児	大人	子ども	未就学児
平成30年10月	545	4	2	462	9	26	904	10	66
11月	444	0	0	428	12	25	906	18	70
12月	483	2	3	423	16	35	851	36	37
平成31年1月	442	0	2	371	15	22	827	33	24
2月	487	0	0	436	6	19	870	41	56
3月	504	6	0	600	8	29	852	33	47
4月	478	6	2	531	0	25	823	26	31
令和元年5月	371	6	0	504	0	30	836	48	41
6月	500	4	4	555	2	26	935	47	43
7月	518	4	13	579	0	10	896	28	13
8月	502	2	4	586	11	8	857	20	10
9月	455	6	0	548	2	12	912	18	23
合計	5,729	40	30	6,023	81	267	10,469	358	461



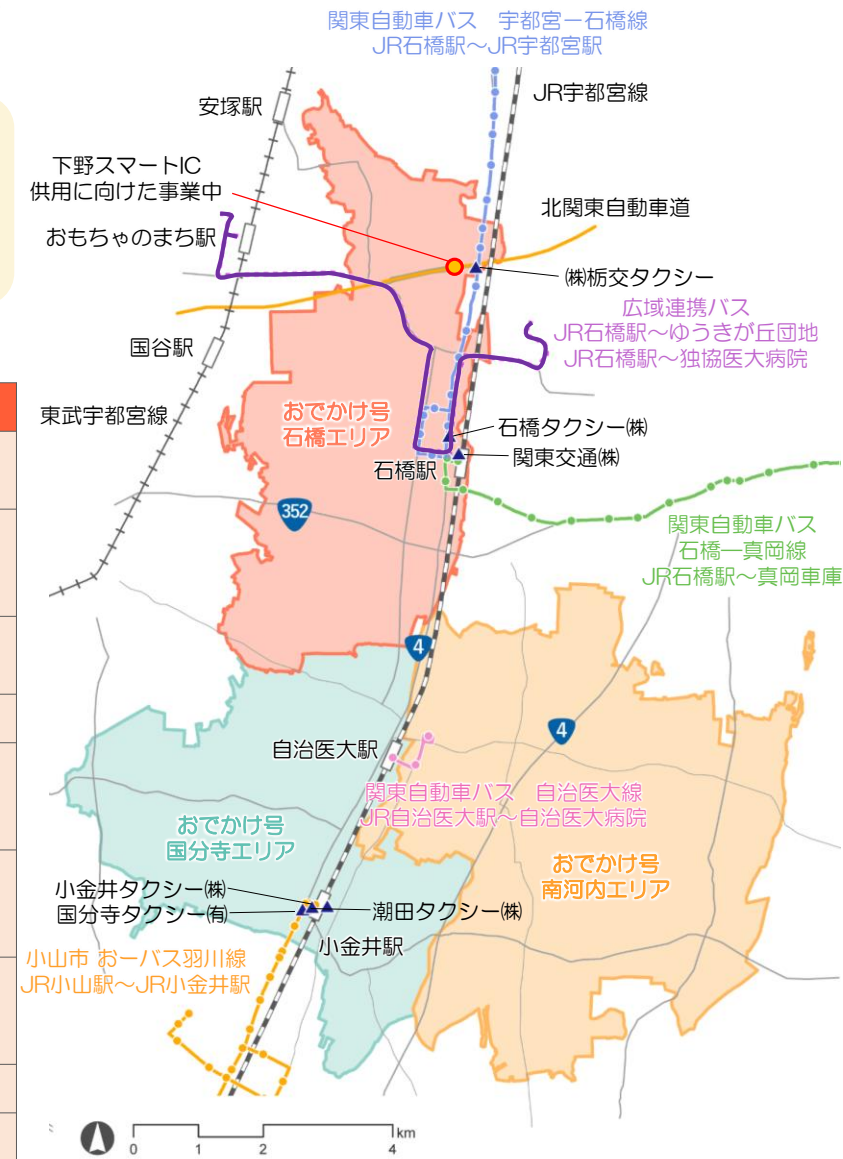
下野市の交通網

5 下野市における公共交通体系

- 下野市は「JR宇都宮線」を中心に、路線バスが3路線、他市のコミュニティバス1路線、デマンドバス等が運行している。
- 令和元年10月からは1市2町連携広域バス「ゆうがおバス」が運行した。

公共交通の種類

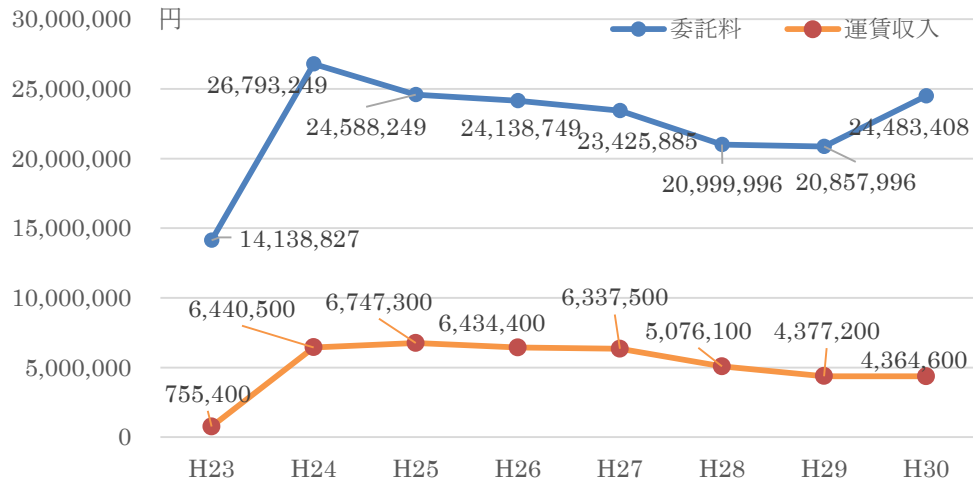
種類	事業者	路線等
鉄道	JR	JR宇都宮線 (小金井駅・自治医科大駅・石橋駅)
路線バス	関東自動車バス	宇都宮-石橋線 石橋-真岡線 自治医大線
コミュニティバス	小山市	おーバス羽川線
デマンドバス	下野市	おでかけ号 市内全域 (3エリア)
タクシー	6事業所 (下野市内に事業所を持つ 栃木県タクシー協会加入事業所)	
スクールバス	下野市	閉校した国分寺西小学校区の児童を 対象とした、 国分寺小学校への通学手段
福祉タクシー	20事業所 (下野市福祉タクシー事業※ 協定事業所)	※通常の公共交通利用が困難な方への 福祉タクシー利用券の交付事業
レンタサイクル	下野市観光協会	市内6カ所にステーション
広域連携バス	下野市・上三川町・壬生町 (令和元年10月より 実証運行を開始)	ゆうがおバス J R 石橋駅～獨協医大病院 J R 石橋駅～上三川町ゆうぎが丘団地



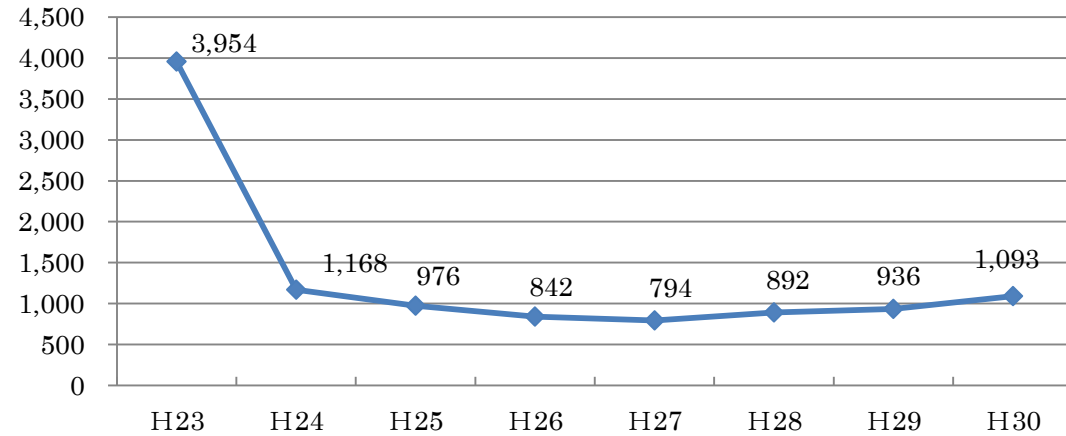
6 デマンドバスの経費の推移と利用状況

- 市民の移動手段を確保しつつ、運行経費（委託料）と運賃収入の乖離をどこまで許容するか引き続き検討を進める。

【委託費・運賃収入の推移】



【運行経費（一人当たり）】



利用状況 平成30年度実績

利用実績

6,914人/年間

1便あたりの平均利用者数 **3.2人/便**

運行経費

(運行委託費、燃料費、車検等)

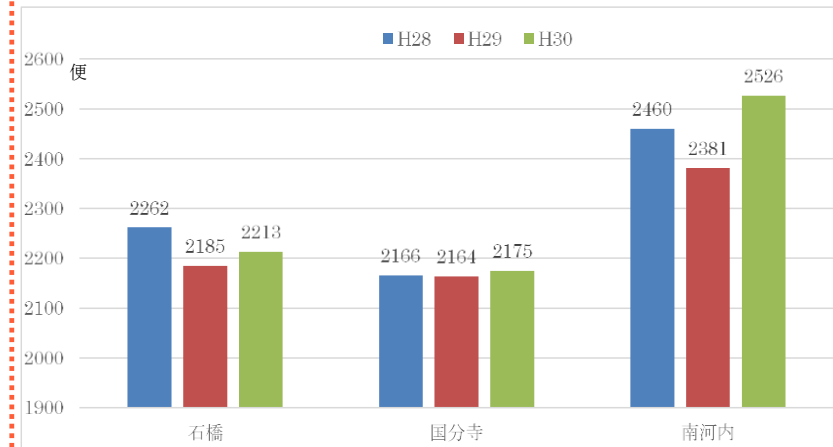
24,483,408 円

一人あたりの運行経費

(年間運行経費/年間利用者数)

1093 円

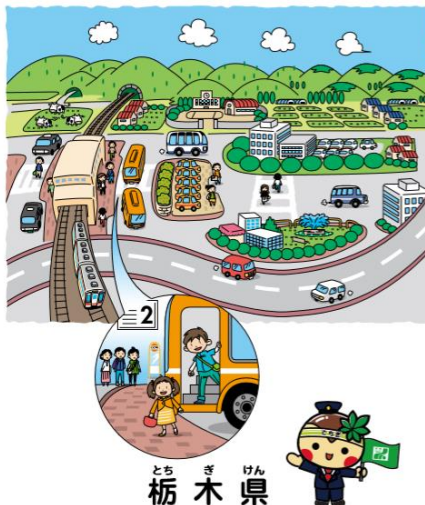
【エリア別運行便数】



7 利用促進の取組

- 65歳以上の運転免許証自主返納者、75歳以上の高齢者、未就学児を持つ子育て世帯を対象に、外出支援事業としてデマンドバスの回数券を交付し、利用者の増加、利用促進に努めている。
- 栃木県においても小学2年生を対象とした副読本を配布し無料券を付け、公共交通の利用に結び付ける取り組みを実施している。

みんなでのろろ 2019 のりもの・のりかたガイドブック バス・列車



子育て世帯外出支援（デマンドバスお出かけ号利用券の交付）

ページ番号：P-003052

子育て世帯の外出を支援するため、未就学児を持つ保護者の方に「デマンドバス（お出かけ号）利用券」を交付しています。
平成30年度分の申請を3月19日（月曜日）から受け付けます。

交付対象者

市内に住所を有し、未就学児を持つ保護者の方で下野市デマンドバス利用登録証をお持ちの方（未登録の方は申請時に受付します。）
※デマンドバスの利用登録は利用する方全員分（未就学児を含む）が必要です。
詳しくは、「[デマンドバス「お出かけ」号運行のお知らせ](#)」のページをご覧ください。

交付枚数

1世帯につき10枚交付します（年度内有効）。

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/1328/info-0000003052-3.html>

下野市高齢者外出支援事業

ページ番号：P-000507

用途

下野市高齢者外出支援事業は、電車、バス等の交通機関を利用することが困難な高齢者に対して、デマンドバス利用券を交付することにより、高齢者の外出支援と社会参加の拡大を図り、心身機能の低下等を予防することを目的に実施します。

内容

下野市デマンドバス「お出かけ号」の利用券10枚を交付します。
※再交付なし。

対象者

下野市デマンドバス「お出かけ号」利用登録者で、年度末において75歳以上の高齢者

<https://www.city.shimotsuke.lg.jp/0629/info-000000507-3.html>